

なすからすやま 社協だより

9月
No.155

平常時から地域の特性に応じた防災活動のために

地域防災力

向上研修会を実施

この研修会は、自然災害に対して、住民一人ひとりが平常時から地域の特性に応じた防災活動推進や、行政・消防・関係者が連携し効果的な役割を担うための体制づくりを目的に、8月11日と25日の二回にわたり開催した。

参加者は、自治会役員関係者や災害ボランティア活動経験者等延53人。



身近な毛布を使っての搬送体験

「地域防災力を高めるために」をテーマに

8月11日は、NPO法人栃木県防災士会理事長の稲葉茂氏から「地域防災力を高めるために」をテーマに、災害が起きるメカニズムや防災・減災に関する基礎知識を講話いただいた。

次に、実践活動事例として日光市大沢地区平成町自治会長の星正男氏と日光市社会福祉協議会の松田大樹氏による「防災の視点で取り組む地域づくり」として平成町で行う住民同士の人間関係づくりや平常時から災害時に備えた自治会の体制作りや防災マップ等の活動、関東豪雨災害で被災した際の対応について講話いただいた。



平成町自治会長の星氏

身近なモノで作れる防災グッズの制作

8月25日は、栃木県防災士の稲葉氏を含め4人の講師

から身近なモノで作れる防災グッズの制作と非常食の試食を行った。ゴミ袋を使用した防寒着、ダンボールで作るトイレなどいざという時に役立つ方法を体験した後、日赤奉仕団が作った災害救援用包装袋を活用したご飯などを試食した。



非常食の試食

参加者からは「自分の身は自分で守る意識の大切さ」「平常時から隣近所の方々に支え合いが、いざという時に重要になる」との意見や、「高齢者に対する避難方法の明確化」「平常時から災害に備えた防災訓練の不足」「住民に対する防災意識啓発」等の課題が出された。

今後社協では、これらを解決できるよう地域住民、行政、社協、関係者が連携し検討していけるよう活動を展開していく。

夏休み子ども防災講座



避難所体験

講座では、災害に関する話、ダンボールや毛布を使った避難所体験、新聞紙クッション・スリッパ作り、非常食の試食などを行った。参加した子ども達からは「7年前に東日本大震災という大きな災害があった事を知りました」「ダンボールや新聞紙が色々なモノに利用できることを知りました」など災害や防災について楽しく体験しながら学びがきっかけとなった。

NPO法人野つなぎくらぶと那須烏山市日赤奉仕団と本会の3者共催で、8月8日に荒川児童保育、8月9日に江川児童保育の利用者対象に子ども防災講座を実施し子ども達延べ108人が参加した。

この講座は、日頃から自然

災害に備える防災意識を高め、災害が起こった時、慌てずに行動できる人を育成すると共に過去の災害を次世代へ伝えることが目的となっている。



新聞紙でクッション作り

ボランティア・NPO・市民グループネットワーク情報市場



8月6日、ボランティア・NPO・市民グループネットワーク

ワーク情報市場が烏山駅前の「ぷらっと」で開催され、市内のボランティア・活動者など19人が参加した。

情報市場は、市内の様々な活動者どうしで情報交換を行い、横の繋がりを作ることで、新たな協働アクションを生み出すことを目的として実施している。

当日は「市民グループネットワークの機能をさらに充実・推進させるためには」をテーマに参加者どうしで意見

交換を行った。終了後は同会場にて懇親会を行い、参加団体同士の親交を深めた。

参加者からは「新しいことを行う際は、まずは小さく無理なく行う事が重要」「情報発信は、誰に何を発信するのかがターゲット層を想定する必要がある」等の意見があった。

次回は、11月9日の開催を予定している。

サークル活動発表会



第22回栃木県老人クラブサークル活動発表大会

8月7日宇都宮市文化会館で第22回栃木県老人クラブサークル活動発表大会が行われた。

本市からは、烏山紙すき頃保存会の会員14人が出場、舞

踏「ちつきり節」「烏山紙すき頃」を披露し会場から拍手喝さいを浴びた。

同会は金井いきいきクラブ会員が中心となり、月2回の練習の他、高齢者施設を中心に年間20回以上のボランティア活動をを行っている。

代表の森島清さんは「メンバーは皆高齢になりましたが、年を取っても演奏し踊れることは大変ありがたいことだと思っています。これからも健康で演奏と踊りを続けてボランティア活動をしていきたい」と話していた。

また、同時開催で9日までの3日間栃木県老人クラブ作品展示会が開催され、本市からは書、日光彫など12作品が出展され来場者の目をくぎ付けにしていた。



市内各地で「平成30年7月豪雨災害義援金」募金活動広まる



7月に西日本で発生した豪雨災害を受け、本市内でも、各所で募金活動が実施された。

7月21日、たいらやで災害ボランティアチーム龍J-1N主催のもと、烏山高校生、栃木県カールスカウト連盟第14団、災害ボランティアチーム龍J-1N、社協職員など計21人が街頭募金を行った。募金額は170,500円になった。

参加した烏山高校の生徒からは「初めて募金活動に参加したが、迷わず募金してくれた人が多くありがたかった。被災者の方々の支援に役立てて嬉しう」、「募金活動のよ

うな助けあい活動の大切さ、また災害への備えの大切を感じた」などの感想があった。

7月29日には、山あげ祭り開催に合わせて、山あげ会館前で災害ボランティアネットワーク登録者、チーム龍J-1N、社協職員など計26人で街頭募金を行った。募金額は100,000円になった。



日赤那須烏山市地域奉仕団でも街頭募金を実施。83,710円が本会に届けられた。

同団体委員長の柳田京子さんからは「被災された方々に対しささやかではあります。が、応援の気持ちを届けられたいらと役員13人を中心に、募金活動を行いました。被災地

の皆さまの一日も早い復旧・復興を心から願っています」と話していた。



南那須中学校でも校内で募金活動が行われ生徒会役員を通じ、22,550円が届けられた。

また那須烏山更生保護女性会から、10,000円、那須烏山そば組合から、10,000円、フラダンスグループのブルメリアから、3,000円の義援金が届けられている。(8月22日現在)

今後本社協では、災害支援のために募金活動やボランティア活動を随時取り組んでいきますので、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

母子寡婦福祉社会 会員研修会



できあがった作品を手にして

7月11日、母子寡婦福祉社会員研修会が実施され、会員27人が参加した。

今回は、市貝町花王栃木工場の見学と、益子町のつかもと陶芸教室で湯飲み茶わんの絵付け体験を行った。

同会会長の高田クミさんからは「上手下手は別として、それぞれ愛着のある逸品が出来上がったと思います」と話していた。

同会は、那須烏山市に居住する母子家庭並びに配偶者のない婦人の福祉の増進を目的に活動している。

母子寡婦福祉社会に興味のある方は、社協までご連絡ください。

身体障害者福祉社会 日帰り研修会



福祉プラザの前で

7月13日、宇都宮市にあるとちぎ福祉プラザで、身体障害者福祉会の研修会が実施された。

研修会は、栃木県身体障害者福祉会連合会の会長麦倉仁巳氏より栃木県の身体障がい者の状況や県連合会から国や県への要望、会のあり方について、説明を受けた。それを受け、本会の活動の重要性と取り巻く現状を知ることができた。

その後、障がい者スポーツを行う施設の「わかくさアリーナ」も見学した。

本会では今後も、会員同士の情報交換を図るための交流会を実施していく。

次回は、10月に研修会を予定している。

ボランティアセンターだより

シリーズ ボランティアの達人 「健康麻雀クラブ」

8月20日「健康麻雀クラブ」が、大金の里でボランティア活動を行った。

健康麻雀クラブは平成27年から活動を開始し、現在会員36人で、南那須地区では毎週金曜日午前9時から午後4時まで、烏山地区では毎週火曜日同時刻に、お金を「賭けない」酒を「飲まない」煙草を「吸わない」健康的な麻雀を行っている。



男性高齢者は女性に比べて家の中に引きこもりがちで、外出の機会と友達作りに役だっている。ボランティア活動は、月1回午後1時から3時まで、大金の里で利用者を交えて半荘2回を目安に行っている。麻雀は指を使い役を作るのに頭を使い、他の3人との駆け引きもあり認知症予防に役立つと代表の平山節夫さんは話している。

この日、大金の里デイサービスを利用し、麻雀に参加した菅又孝夫さん92歳は「麻雀は60年以上やっている。免許を返納してから外出の機会が減り、月に1回の麻雀を楽しみにしている」と語った。

今月のごちそう さまでした!



烏山地区

メニュー(8月7日)

配食数66食

- ・コロック・煮物
- ・きゅうりもみ
- ・パイナップル・小梅

ここでは、毎月配食サービスボランティアの皆様が作っているお弁当を紹介します。

ボランティア関係の情報がありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております!!

問合せ先 市社会福祉協議会(ボランティア担当:石井・大森・笠井) ☎88-7881

生活上の心配ごと相談 (時間9:00~12:00)

場 所	期 日
本 所(田野倉)	9月26日(水)(行政相談併催)
保健福祉センター☎88-7881	10月10日(水)(人権相談併催)
社協烏山支所(初音)	9月19日(水)(行政・人権相談併催)
☎84-1294	10月3日(水)(行政相談併催)

協力事業所と受注作業 (7月分)

すずらん ☎88-0840	あすなる ☎82-3141
丸星食品(株) 切干大根袋詰め	(株)大森紙器 箱折り
(株)シオダ ピン取り出し・袋詰め他	エム・シー・アイ(株) 自動車部品選別等
(株)菊地製作所 スペア組み他	(株)坂本製作所(株) 自動車部品選別等
	(株)菊地製作所 ゴーグルケース等
	(株)宝積寺タクシー 箱折り等



11月4日(日)
保健福祉センターで
第13回福祉まつりを
開催します。
楽しみにして下さい!



福祉サービス利用状況

(7月末現在)

介護保険サービス	
ホームヘルプサービス	113件
ケアプラン作成	221件
介護予防ケアプラン作成	40件
介護保険以外のサービス	
有償ホームヘルプ	15件
日常生活用具貸与	10件
障害者ホームヘルプ	6件
児童発達支援事業契約数	37件
放課後等デイサービス契約数	45件
障害児相談支援契約	101件
あすてらすサービス契約数	39件

アルミ缶 (単位:個) (7月15日~8月14日)

すずらん ☎88-0840	あすなる ☎82-3141
大野 伯恵	350
阿相 孝一	290
川上 恭治	200
小島 比佐子	600
高野 英知	210
青木 とみ子	70
大賞 保	60
中山 寛行	250
糸井 隼虹郎	1,000
糸井 康志郎	175
釜川 勇	185
塩野 淳二	136
野口 節	310
大森 金一	65
橘	200
石川 多喜栄	100
露久保 章	600
露久保 英司	800
露久保 芳広	100
森嶋 正	2,483
志島上自治会有志	2,000
藤田自治会	370
中山地区有志	2,000
ペット霊園那須烏山	100
(株)矢崎部品	864
(株)アヤラ産業	500
仲沢 瞳	120
(株)丸星食品	80
(株)日本技研	80
(株)東北化工	1,114
横枕ソフトボール愛好会	2,000
梅田農機具店	600
匿名	200
阿相 すみ子	600
石川 義郎	300
漆原 義孝	450
絵本喫茶ばたぼん	300
大谷 修一	80
神長上自治会協力者	750
上境中組協力者	160
釜銀	450
川上 玲子	300
黒須 正夫	600
小林 キヨ	680
小原沢自治会協力者	150
五味洸 日出男	850
坂田屋商店	450
JAなす南	80
塩野目 征子	400
下境上自治会協力者	1,050
下境西組協力者	400
釋 剛智	450
小規模多機能ホームなごみ	450
五月女雅輝	100
高野 源市	200
高野 博	160
高橋 雷次	60
高橋 博	170
高橋 任	900
玉ちゃん餃子	900
中央協力者	450
東原 正記	150
栃木県庁南那須庁舎	350
中村商店	250
生魚商店	150
成瀬 一郎	200
根本 章	450
野上 明光	380
連見自動車	300
ハケ平自治会協力者	300
廣木 清一	1,500
ヒロコダンススタジオ	150
ファミリーレストラン笠井	300
富士山苑	60
益子 豊	1,320
みっちゃん	450
山あげそば店	160
矢口文子	300
横山農機(株)	300
吉沢 富夫	600
和久 連	1,800
和智 祐一	150
	300
(合計 17,872個)	(合計 22,250個)

社会福祉協議会は、皆さんの「心」に支えられて活動しています。ご理解とご協力をお願いします。